

山田小児童、開校150周年の変遷を学ぶ



グループに分かれ、端末を駆使して調査する児童たち

やまだの風

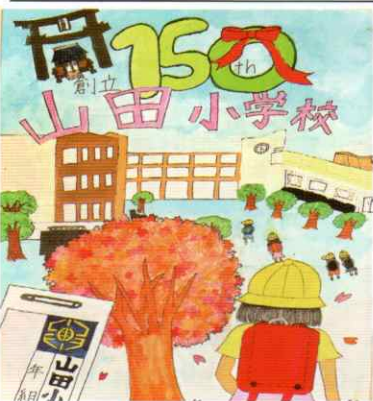
今年で150周年を迎える山田小学校は、1873年(明治6年)10月、岡垣町最初の小学校が氏森神社に開設されました。その後1890年(明治23年)山田尋常小学校となり1910年(明治43年)山田区字登り立(現在地)に校舎を移転。その後児童が増えるたびに校舎の改築が6度も行われ、現在の地に開かれた山田小学校が誕生しました。



令和5年桜の季節の玄関口と校舎

令和5年7月25日
(2023年)
第55号
山田校区コミュニティ
運営協議会
会長 友廣 輝好
282-5767

150年の歴史を調査
山田小学校では5月から6年生3クラスの児童が毎週1回行われている授業、総合(総合的な学習時間)で、山田小150年の歴史を学んでいます。
令和3年にGIGAスクール構想による1人1台タブレット端末を用いた教育活動の実施で、6年生児童は1人1人が自分のテーマを決めて端末を駆使して山田小150年の歴史を調べています。こういった授業での学びが自立につながって、将来自



150周年記念ポスター金賞
この作品は令和4年度冬休みの募集作品で、当時6年生の松本すみれさんの作品です。
ご本人は現在岡垣東中学校1年生になられています。

分で考えて動ける人に成長して行くのだと感じました。
歴史調査の発表会は9月下旬を予定しているそうです、発表会が楽しみです。



山田小児童による記念人文字

山田小学校の思い出
第108期生 田中 幸二郎
現在、31歳の私が山田小学校に在籍している時期はちょうど現在の新校舎への建て替えが行われ、旧校舎と新校舎が入り替わる過渡期にあたる時期でした。4年生を迎えた頃に新校舎が完成しました。教室に扉がなく、開放的で美しい現在の新校舎に初めて足を踏み入れた時の感動は、今でも鮮明に記憶に残っています。当時の私には最新鋭の整った環境で学べることはどこか誇らしく毎日の学校生活がとても充実していました。
卒業してから約20年の月日が経ち、現在の私は高校の教員として働いています。教員となつた今、当時お世話になった先生方の熱心なご指導も含め、いかに自分が恵まれた環境の中で学んでいたのかを痛感するばかりです。これからも我が母校がますます発展しますことを祈念し、私の思い出いたします。
田中幸二郎様は現在福岡県立須惠高等学校の教諭として活躍されています。今回、編集側の勝手な文字制限にも拘わらず寄稿ありがとうございます。

ねばり強く学び

ほめてのびして 地域に誇れる「東中」



岡垣東中学校
校長 宮原 仁美

本年度、岡垣東中学校の校長として赴任しました 宮原仁美と申します。昨年度までは、内浦小学校の校長をしておりました。岡垣町には、以前、岡垣中学校の教員として11年間勤務をしておりました。

岡垣東中学校の子どもたちの健やかな育ちを保護者・地域の皆様と共に支えてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

本校の、本年度の教育目標は『ねばり強く学び、生き抜く力と思いやりの心を持った生徒の育成』と、ほめて、のびして地域に誇れる「東中」です。目標のように、これからの社会を生き抜く知識と力を身に付け、地域に貢献できる子ども達を育てていきたいと思っております。今後ともご支援、ご協力

をお願いいたします。

新1年生107人 入学

4月11日に、入学式が行われ、107人の新入生を迎えることができました。生徒達は、中学校生活への期待を胸に、元気いっぱいの様子でした。義務教育最後の3年間を岡垣東中学校で過ごし、勉強や部活動等に頑張っしてほしいと思っております。保護者の皆様が慈しみ大切に育ててくれましたお子様の育ち



を、一緒に支えて見守ってまいります。ふれあい教室



海岸で潮風と遊ぶ生徒

4月16日に、1年生が玄海少年自然の家でのふれあい教室に行きました。目的は、学校から離れた場所で、学校の仲間とともに同じ目標を持って活動することで、協力する活動の在り方を体験する機会とし、よりよい学級集団作りの力を育むことです。一人一人が自分の役割を果たしながら頑張っていました。中学校の3年間であくましく成長してほしいと思っております。

授業参観

4月22日、新型コロナウイルス感染症の流行のため、ここ数年実施出来ていませんでしたが、久しぶりに授業参観を行うことができ、生徒達の日常の授

業の様子を見ていただくことができました。多くの保護者にご参加いただきました。その後、体育館にてPTA総会を実施しました。PTA会長をはじめ役員の皆様、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なお力添えをいただき、心より感謝しております。

体育会

5月20日、曇り空の下、体育会を行うことができました。保護者や地域の方の観覧制限もなく、沢山の方に観覧いただき生徒達の励みになりました。

3年生にとっては中学校最後の体育会でした。リーダーとして下級生を引っ張り、体育会を盛り上げてくれ、思い出に残る体育会となりました。



岡垣第一幼稚園



<http://www.okagaki-daiichi.com>

★えびつ駅へ、七夕かざりに行きました。★
TEL
093-282-0235



令和6年度のご案内を開始しています。ぜひ、ご連絡下さい。

総会 書面議決 全て承認されました

山田校区コミュニティ運営協議会の令和5年度の総会は新型コロナウイルス感染症予防対策のため「書面議決書」による総会となりました。

総会代議員総数47人で、書面議決の結果。議決権行使代議員36人全員の賛成で。提案いたしました、1号議案、7号議案まで全て承認されました。代議員の皆様ご協力ありがとうございました。

山田校区コミュニティ

5年度活動開始

中止したりしましたが、5年度は4月より活動を開始。4月・5月・6月の山田小学校、岡垣東中学校でのあいさつ運動。毎週当番曜日(月曜日)には青パト巡回パトロールによる防犯呼びかけを行っています。



令和5年度・6年度の新役員

安全・安心部会

令和4年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため活動計画も大きく変更したり、やむな



山田小学校での挨拶・見守り活動

元気はつらつ部会

元気はつらつ部会は4月より



いも畑の畝作りと黒マルチ張り

活動を開始し、4月17日にも苗植え用の畝づくり・黒マルチ張りを行いました。5月15日には芋の苗800本を植え付けました。いもは現在順調に生育しています。

今年の健康ウォーキング時は、山田名物「だご汁」の復活も計画しています皆さん楽しみに待っていて下さい。

環境デザイン部会

環境デザイン部会は地域の美化推進活動の一環として、6月23日、山田小学校6年生・5年生児童と一緒に地域の清掃と草取りを行いました。

6年生は旧国道3号線を挟んで南側の歩道のゴミ拾いと草取りを行いました。5年生は旧3



6年生の草取り清掃活動



5年生の草取り清掃活動

号線を挟んで北側の歩道のゴミ拾いと草取りを行いました。

当日は天気が良く、気温も高かったので児童たちは汗をかきながらも草取りに頑張っていました。児童たちも誰かがゴミ拾いや草取りをしなければ街はきれいにならないということを学

んだようです。
「ゴミや空き缶をポイ捨てするのもしないのもあなた次第です「街をきれいにしましょう」」。

令和5・6年度役員

会長	友廣 輝好	西高陽
副会長	田中 正人	東黒山
事務局長	中葉 允雄	高陽
会計	田中 幸子	東黒山
監事	山本 一太	緑ヶ丘
監事	貞平 憲子	緑ヶ丘
安全・安心部会		
部会長	西美千代	松ヶ台西
副部会長	佐々木幸二	旭南
元気はつらつ部会		
部会長	小松 勝昭	緑ヶ丘
副部会長	宮崎貴美代	松ヶ台西
環境デザイン部会		
部会長	前田與史郎	南高陽
副部会長	野末 敏子	旭南
総務・広報部会		
部会長	松井 義廣	糠塚

よろしくお願い致します。

趣味多芸

今回は、東黒山区の山田校区コミュニティ運営協議会副会長の田中正人さんを取材させていただきました。
この敷地は父親から小山の一部を譲り受けたもので、当時山には40本ぐらいの松が植えてあったそうです、それを兄弟で半年ぐらいかけて切り開いて整地したそうです。敷地は165坪あるそうです。家を建てる時は、森の中の一軒家をイメージして建て、庭づくりも家の周りを一周出来る遊歩道を巡らし、どこでも休憩出来るよう木陰やテラス席・ベンチを配置していつでも気持ちのいい遊歩道でした。



田中 正人さん

遊歩道のある庭づくり

庭づくりも、遊歩道の幅を広くとり、広い所では4材を超している所もありました。傾斜地をうまく利用して、低い段差をつけて庭にアクセントをつけたり、あちこちに工夫がこらされています。また、庭に配置しているテラス席の椅子や・テーブル、散策路のベンチはすべて廃材を利用して作ったお手製の物だそうです。たまに、波津の海岸で流木を拾ってきてその流木の曲線を生かしてベンチや椅子を作るのが楽しいそうです。



傾斜地を利用して段差を作り庭にアクセントを

田中さんの自慢は遊歩道に雑草が一本も生えてないことだそうです、雑草は小さい内に取るため、小さい雑草とり専用道具も自分で作るそうです。田中さんは工業科出身なので専門知識も広く針金からたいて、焼き

入れをして強度を高めた実用的な道具です、この道具で小さな雑草を取るそうです。もちろん柄も流木で握り易そうな物を見つけては削って道具を作っている内にいつの間にか数が増えたそうです。



小さい雑草取り専用道具

ミニチュア制作へ

田中さんはある時、空き缶をみて、これ捨てるのもったいないなあ、何かに使えないかなと思っただけです。それからいろいろ思いを巡らせているうちにミニチュアのスコップづくりを始めたそうです。空き缶をハサミで切り、形を整えて焼き入れをしてまた形を整える手間暇のかかる工程をへてスコップの柄は割り箸を利用して作るそうです。ミニチュアの収集家にとっ

ては咽から手が出るほどほしい一品みたいです。



ミニチュアのスコップと田中さん手彫りのプレート

オブジェの制作へ

庭に何かほしいよね!と思いついたのが廃材を利用したオブジェの制作でした。
家の玄関横に郵便物や回覧板が入るポストを制作し、遊歩道沿いにも2力所オブジェがありました。とても廃材からとは思えない出来映えです。



玄関横のポスト

奥さん(幸子)の談話

家を建てた当初は何もない庭に友人や親戚から譲り受けた、びわ・山桃・栗と季節の実と花が楽しめる木々でしたが、30数年の年月をへて今の庭があります。とにかく主人の庭に対するこだわりには驚きます。雑草は見えない所まで抜き、枯れ葉はともこまめに掃きます。
数年前からは廃材や流木で椅子やテーブル、オブジェを制作しております。木陰のテラス席でコーヒー頂きながら自然いっぱいの庭を楽しんでいます。



流木の曲線をうまく生かしたベンチ



メルヘンの世界を思わせるオブジェ